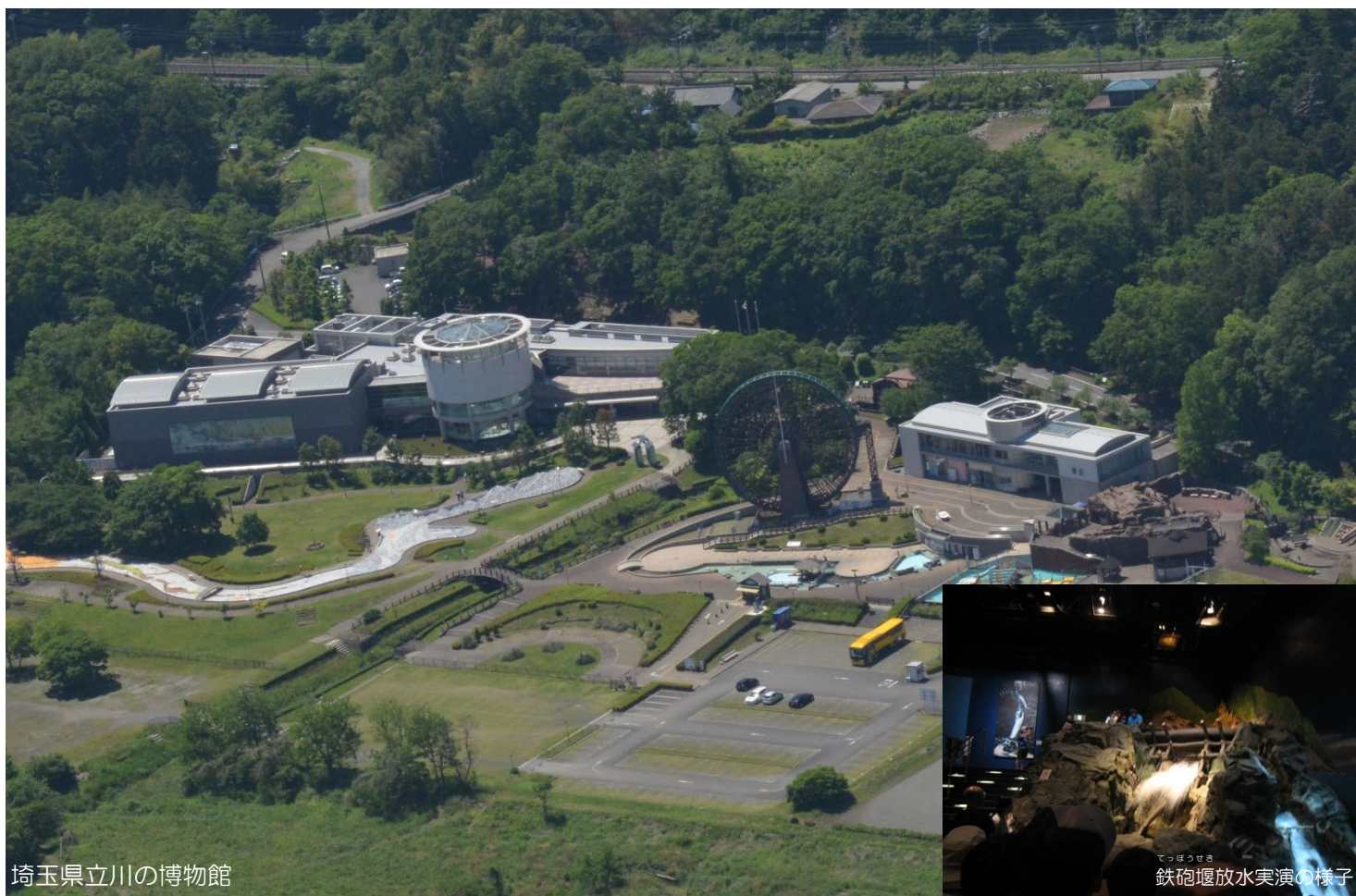


荒川の学習施設～川について楽しみながら学べる施設の数々～

荒川流域には、荒川の自然や人々の暮らしとのかかわりなどを学べる施設がたくさんあります。行ってみると新たな発見があるかもしれません。



埼玉県立川の博物館



本館展示室



「かわはく体験学習」の実施風景

埼玉県立川の博物館 ～川について楽しみながら学べる体験型博物館～

「埼玉の母なる川—荒川を中心とする河川や水と人々の暮らしとのかかわり」をさまざまな体験学習を通して理解してもらうことと、環境保護について河川の浄化や水循環の視点から身近な問題としてとらえてもらうことを目的に、1997（平成9）年、「かわせみ河原」のそばにオープンしました。一方的に情報を伝えるのではなく、「楽しみながら学べる体験型博物館」として、子どもから大人まで、誰もが親しめる博物館です。

館内の展示模型には、実際に乗ったり動かしたりできるものが多く、また屋外では水を使った、あるいは水にかかわる遊具などを使用したアスレチックもあります。各種イベント・講座も定期的に関催しています。

▶ 荒川ビオトープ観察の拠点 北本自然観察公園

雑木林、草地、湿地、里山などの豊かな自然がそのまま残り、動植物が暮らしやすいように整えられた公園が北本自然観察公園です。四季折々の身近な動植物を観察することができます。広大な園内には、自然観察路、木道、ハッ橋、浄化沼、自然学習センター、駐車場(95台)等の施設が完備。荒川ビオトープに隣接するという恵まれた自然環境を保全しながら、人と自然とのふれあいの拠点となるアーバンエコロジーパーク（自然生態観察公園）として整備を進めています。

自然学習センターは、(1)自然観察をとおして自然保護について学ぶ機会を提供、(2)自然についての情報を集めて提供、(3)自然学習のリーダーを育てる、という役割をもっています。



「北本自然観察公園」にある学習センター館内

▶ 彩湖周辺の自然の「ふしぎ」を体感できる施設 彩湖自然学習センター

荒川の治水や利水といった河川事業、荒川の自然環境や郷土の歴史などについて深く知ることを目的とした施設です。入館料は無料。

5階建ての館内は、「水中のふしぎ」（1階）、「水辺のふしぎ」（2階）、「草原・湿原のふしぎ」（3階）、「林のふしぎ」（4階）、「荒川の環境と人」（5階）とテーマ別になっており、荒川中流域の水質環境と生物の生態を、さまざまな模型や展示飼育水槽、ビデオシアターなどによって紹介しています。また、屋上からは、彩湖や浄化施設、東京外郭環状道路などを見渡すことができます。

こども自然観察教室、自然観察会、野鳥観察会などの催しを行っており、彩湖周辺の草原や湿原に集まる動物や、自生する植物の観察・採集といった、野外活動の楽しみを教えてください。



年に数回、野鳥観察会などを開催、
幸魂大橋のそばに立地

▶ 国蝶オオムラサキが飛び交う森 オオムラサキの森活動センター

オオムラサキの森活動センターは、オオムラサキの森やその周辺の自然保護地で活動するボランティア団体の活動拠点として、嵐山町が管理・運営している施設です。施設には管理に必要な道具類を整備しているほかに、観察に必要な器具や標本等の資料を保管する機能も備えています。また、一般来館者向けの展示も行っており、オオムラサキなど森の周辺に見られる蝶や、その他のいきものが写真・標本等で紹介され、各種図鑑や図書資料もあり、森に訪れる方が利用、見学できるようになっています。来館者自身が撮影された蝶の写真なども展示され、季節によっては蝶の幼虫やメダカ等の生態展示も行っています。



蝶のシーズンには、園内を
オオムラサキが飛び交います

アクセス

埼玉県立川の博物館

交通：東武東上線「鉢形駅」下車、徒歩約20分

住所：埼玉県大里郡寄居町小園39

北本自然観察公園

交通：JR高崎線「北本駅」下車、川越観光バス「北里研究所
メディカルセンター病院」行き、「石戸蒲ザクラ入口」
行き、「自然観察公園前」下車、徒歩1分

住所：埼玉県北本市石戸第3丁目、6丁目、7丁目
及び荒井5丁目、6丁目地内

彩湖自然学習センター

交通：JR埼京線「武蔵浦和駅」下車、国際興業バス
「下谷目」行き、「修行目」下車、徒歩10分

住所：埼玉県戸田市大字内谷2887

オオムラサキの森・活動センター

交通：東武東上線「武蔵嵐山駅」下車、徒歩約10分

住所：埼玉県比企郡嵐山町菅谷829-1



埼玉県立川の博物館



北本自然観察公園



彩湖自然学習センター



オオムラサキの森・活動センター